

中里北部連合町内会ニュース



第 76 号

発行責任者：
中里北部連合町内会
会長 奥田 妙子

発行日：2022 年 2 月 23 日

年頭のご挨拶

副会長 大曾根 孝一



あけましておめでとうございます

新型コロナの状況下、昨年は、諸行事がほとんど中止になりました。世の中は今、かつての常識が見直され価値観の転換が図られています。科学技術の進歩によって地球は狭くなり、国際交流によって世界は近くなりました。

しかし、グローバル化が大きな危険性を孕んでいることは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって露呈される形となりました。とともに、不安や恐怖の心から湧き出す、差別や攻撃の心を乗り越えて、平和な世界を築くためには、相互の信頼と協力によって各自治会・町内会が、一つにつながる必要性が認識されるようになりました。

この中里北部連合町内会は、各事業を通じて、地域住民の交流を深め、誰もが安心安全で住みやすい町づくりを推進します。当連合会の果たす役割は益々重要で、大きくなって参るのではと思っております。

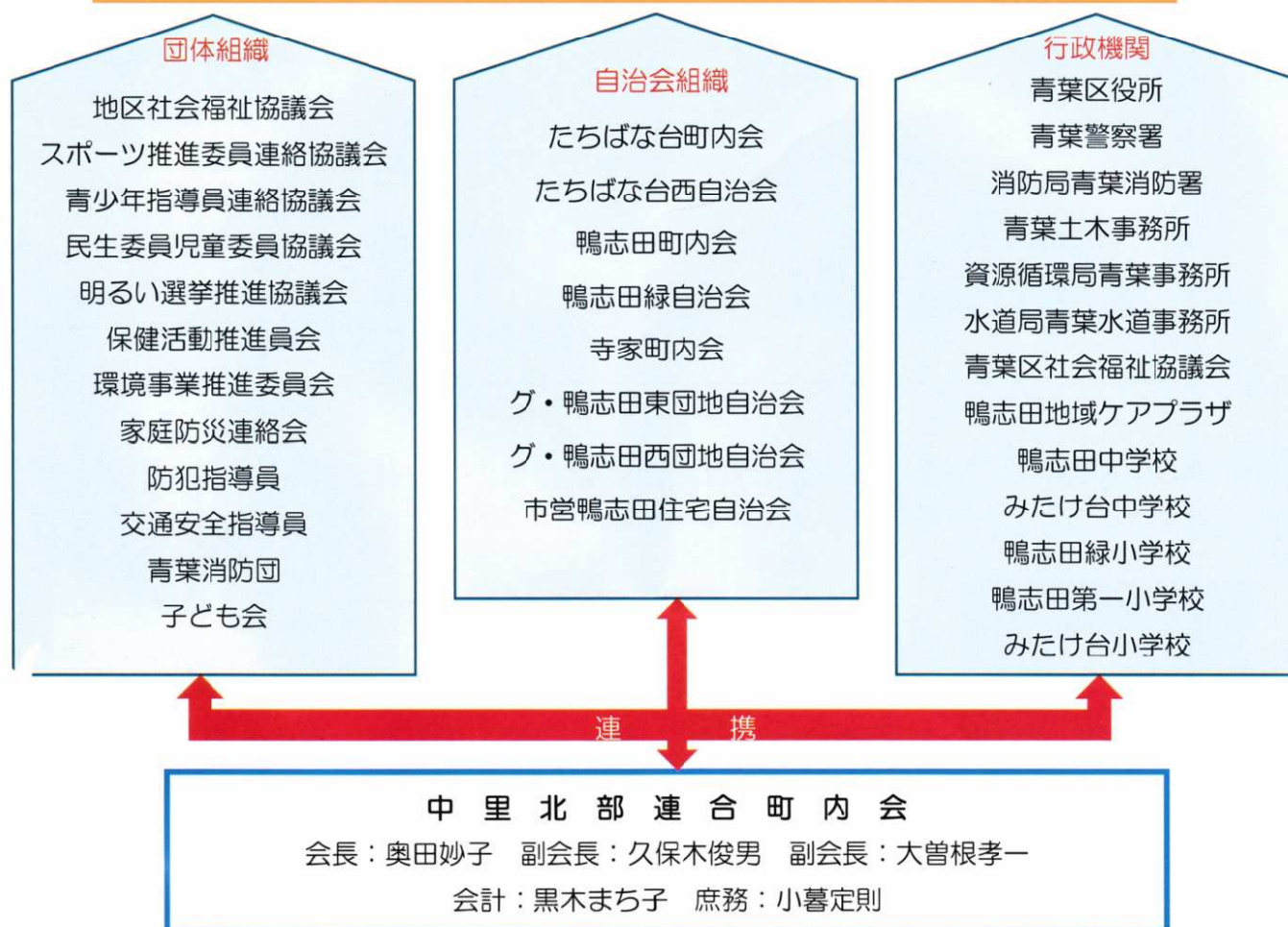
連合会役員と致しましては、連合会の運営に当たり皆様と情報の共有化を図りながら皆様の要望、ご意見を積極的に拝聴し皆様にお役に立つ連合会活動となるよう努めてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和4年 吉日

中里北部各組織との連携体制について(概要)

地域住民の交流を深め、安心安全で住みやすい町作りを推進します



連合町内会は、常に地域住民の立場に立ち、「横浜市の各行政機関」「自治会・町内会」および「地域の各団体」との密接な連携により、地域住民の相互交流を深め、子どもから高齢者までが安心して安全に住みやすい町づくりを目指し、多くの人々との協働を通じて地域の最前線で率先して活動しています。

「民生委員・児童委員」の方々とは、子育ての不安や心配ごとなどの相談を受けたり、ひとり暮らしの高齢者が、住み慣れた町で、暮らしを送れるように支援を協働しています。また、「スポーツ推進委員」「青少年指導員」の方々とは、青少年のためにより良い環境を作り、地域に根ざしたスポーツやレクリエーション事業の企画・立案・実施などしています。

自治会・町内会との連携では、毎月の定例会議のほか、地域毎に実施されている「防犯パトロール」への参加・支援を、また多くの住民が参加して地域を超えて交流できる行事として、「運動会」「ふるさとマラソン大会」主催しています。

行政・社会福祉協議会や地域ケアプラザの支援を受けて、地域福祉保健計画「青葉かがやく生き生きプラン」を策定して次世代につながる、中里北部地域を目指しています。

さわやかスポーツ体験

主催:スポーツ推進委員・青少年指導員



昨年同様に、中里北部の「運動会」や「ふるさとマラソン大会」また、各地域で開催が予定されていた、「お祭り」や「盆踊り」も新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止となり残念でありました。

このような環境の中においても、「スポーツ推進委員」と「青少年指導員」が中心となって感染予防対策を徹底して、青葉区内でもいち早く、「さわやかスポーツ体験」が開催されました。

例年ですと、100名を超える参加者で、大賑わいのイベントですが、今年は参加者数を半数以下に絞り、工夫を凝らし安心して安全に楽しくスポーツ体験ができるようにしました。

参加した子どもたちからは、「また参加します」「楽しかった」と大きな声が上がっていました。

保護者の方たちからもコロナ禍において、よい思い出ができたと感謝の言葉をいただきました。



「気づきの和」ニュース

「気づきの和」連絡会窓口

鴨志田地域ケアプラザ：045（961）6911



中里北部地区
気づきの和

区社会福祉協議会・地区社会福祉協議会・鴨志田地域ケアプラザ・日本体育大学・横浜美術大学・中学校・小学校・民生委員・PTA・廣田新聞鴨志田店・森ノオト・ちょこボラなどとの協働により「気づきの和連絡会」プロジェクトが展開されています。

鴨志田中学校生徒の温かい行動にお礼の電話やお話が伝わってきましたので紹介させていただきます。

(鴨志田中学校通信 KAMO NEWS より)

1. 具合が悪く倒れてしまったときに、「大丈夫ですか」と声をかけ周囲の人と協力して助けてくれた生徒がいた。
2. お店の前で自転車を倒してしまった方に、とっさに「大丈夫ですか」と声をかける生徒がいた。
3. 選挙ポスターがはがれているのを一生懸命に直してくれていた生徒がいた。
4. 迷子の小さい子が母親に会えるまで、近くにおいて声をかけてあげていた生徒がいた。

*** 地域の美化にご協力を！***

鶴見川西岸清掃

副会長 久保木 俊男

令和3年10月24日（日）秋晴れのもと、コロナ禍でありましたが、「人と人の距離を確保」、「マスクの着用」、等の基本的な感染予防対策を施し、地域の子どもを含め多数の参加（約50名）をいただきました。開始に先立、奥田会長から、鶴見川清掃を通し地域の美化活動を推進し、「安全・安心」な暮らせる町づくりに繋げて行きたい旨の挨拶と久保木より安全に清掃活動を行うための、詳細な注意事項を説明し、鴨志田橋から上流・下流の二手に分かれて遊歩道の空き缶・空き瓶などのゴミを拾い集めました。

今回の清掃活動においても、大量の不法投棄が見られ関係部署へ連絡・報告をして処理の依頼をしました。

これからも町の美化推進運動を継続して行きたいと思います。地域の皆様のご協力をお願い致します。



「出発前の挨拶と説明」



「収集したゴミの山」

受賞者の皆様、おめでとうございます

関東スポーツ推進委員協議会の表彰（令和3年10月20日）

西村氏は青葉区スポーツ推進委員として30年の長きにわたり活躍されました。平成25年から中里北部地区会長に就任され、令和元年からは青葉区スポーツ推進委員副会長を努められています。「全国スポーツ推進委員連合会」の表彰に続き、今回は30年勤続表彰を受賞されました。

地域防犯活動の表彰：長年の活動の功績を称えられ、表彰されました。

神奈川県防犯功労者

中里北部連合町内会

奥田 妙子

横浜市防犯功労者

中里北部連合町内会

久保木 俊男



中里北部スポーツ推進委員

会長 西村 進 氏

「ちょこボラ」通信・・・あなたの「困った！」応援します

「ちょこボラ」は日常生活でお困りの、高齢者やハンディキャップのあるご家庭に出向き「ちょこっと」とした「助け合い」活動です。

「活動の事例」 （実績：約100件／年間です）

活動地域	作業実績(一部)
たちばな台	夏の不在時に、庭の草木が枯れないように水やり
鴨志田町	組み立て式ベッドを一階から二階へ移動
たちばな台	ゴミ置き場のネット設置と後片付け
鴨志田町	室内の大型観葉植物の廃棄処分
鴨志田町	庭の草取り、草刈、植木の剪定
たちばな台	電球交換と水道栓のコマパック交換
鴨志田町	室内の窓の清掃・ガラス拭き

【利用料金】

作業員 1 人につき
30 分 300 円
(¥300/人/30 分)

相談・依頼の窓口： 鴨志田地域ケアプラザ 電話(961)6911

注意！特殊詐欺の新手口

最近、新型コロナウイルス感染症の給付金制度やワクチン接種またマイナンバーといった、「新しいもの・不慣れなもの」を前面に出した特殊詐欺が横行しています。自治会・町内会においても注意・啓発のため「のぼり旗」を町内各所に掲げて注意喚起に努めています。

手口1：コロナ禍で「特別給付金などの手続き」を装う

「申請手続き」をかたってATM(現金自動預払機)を操作させて、本人が気づかぬうちに送金させたり、「支給に必要な手数料がある」と嘘をついて「現金をだまし取る」。

手口2：「マイナンバー制度」に便乗して個人情報や現金をだまし取る

交付などの手続きを装って、キャッシュカードをだまし取る、また、口座番号や暗証番号、所得や資産の情報、家族構成や年金・保険の情報といった個人情報を聞き出され、他の特殊詐欺につながります。

手口3：キャッシュカードをすり替える「預貯金詐欺」

役所や銀行などの職員を装って「キャッシュカードの交換(手続き)が必要」と嘘をつき、キャッシュカードと暗証番号をだまし取る。封筒にカードと暗証番号のメモを入れさせて、あらかじめ用意していた偽物とすり替えてから本人へ返す



ふるさと村通り
Furusatomuradori Ave.

ふるさと村 案内図



「ウォークラリー」や300名を超える参加者がある「ふるさとマラソン大会」はこの「ふるさと村」をベースとして、毎年開かれ、地域住民の健康と憩いの場となっています。

四季折々の自然を体験できる、ふるさと村はドングリや紅葉が楽しめる秋は特にお勧めです



編集後記

広報担当：久保木 俊男・大曾根 孝一・小暮 定則